



いのちの目便り

2022. 5.11

いのち推進

プロジェクト

NO. 2

～第2回一中いのちの日 「一中いのちの日」シンボルマークペイント～

5月6日の「一中いのちの日」には、一人一人がシンボルマークに色をぬりながら「いのち」について考える活動を行いました。

マークを見て想像し、考えたことをもとに、自分で色を選んで丁寧にペイントしました。また、マークの考案者がどんな思いをこめてデザインしたのか、担任から話を聞きました。



【マークに込められた意味について】

【デザインについて】

LIFE：生命・生き方・心

時計：いのちを刻む・いのちの縦糸

ハート：生命・心・感性

鍵：心の鍵を開ける・つながる

羽：いのちの輝き・未来への羽ばたき

【配色について】

ピンク：心・温かさ

黄色：生命・輝き

赤色：生命・心

青からのグラデーション：夜明け→心の解放

考案者 デザイン：松浦雪乃さん（H23卒業生） アレンジ：遠藤由美子先生（旧職員）

生徒のみなさんの感想より ～どんな思いをこめてマークをペイントしたか～

・真ん中のハートを虹色にした理由は、自分のいのちは、たくさんの人のおかげであるということ表現するためです。下の所は、進化の過程とかを表して色を塗りました。 (1年3組 さん)

・全体的にやさしめのうすい色でそめた。上の方を朝陽が上るようにして、いつも朝が来ると生きてると実感出来るから、いのちを表すために朝陽をイメージしてそめた。 (1年3組 さん)

・いのちは光かがやくものであり、不思議で人の考えによって重みが変わってしまいます。私はいのちを言葉で表せられないほど重く考えているので黄色とグラデーションでぬりました。そして、時計の針を目立たせたかったので赤で囲みました。 (1年4組 さん)

・人は思いやりの心を持っていて、それを求め合っていると思ったから。思いやりは誰にもあって、誰にでも分けることができるから、みんなで分けあって心を開きあえたら良いと思ったから。 (1年4組 さん)

・ほとんど明るい色で塗ったのは、いつも明るい自分でいられることをイメージして塗りました。ハートの所を赤と青で塗ったのは、悲しいときは悲しみ、楽しいときは楽しむことの出来る人になるためです。

(2年3組 さん)

・鍵穴は明るい黄色に、ハートの鍵は赤に、羽はうすい水色に塗りました。これから2年生として、明るく強い心を持って、希望に向かって羽ばたいていき、1年生に立派な姿を見せたいという気持ちを表現しました。

(2年3組 さん)

・黄色のところは、苦しいことも辛いことも、乗り越えれば希望が見えるという意味で、羽根の部分では、広い空の下、広い大地の上をしっかり足をつけて歩くという意味、かぎの3色は人の気持ちや自分の気持ちを考え、伝えることができるという意味を込めました。

(2年4組 さん)

・かぎは、命を表していると思ったので赤色でぬって、羽は空を飛ぶ鳥を表していると思ったので水色でぬって、鍵穴は自然を表していると思ったので緑色でぬりました。

(2年4組 さん)

・ピンクはぬくもり、赤は生命の力強さ、黄色は光、白はこれからの未来をイメージしてこの色にしました。さまざまな命の形について考えながら、いのちの日を過ごしていきたいです。

(3年3組 さん)

・ハートのかぎの部分は赤、オレンジ、黄色の暖色で塗り、自分の周りの人も常に暖かい気持ちでいられたらいいなという思いを込めました。羽は青で塗り、綺麗なイメージを持たせました。一中生として外面も内面も綺麗でいれるようにしようと思います。

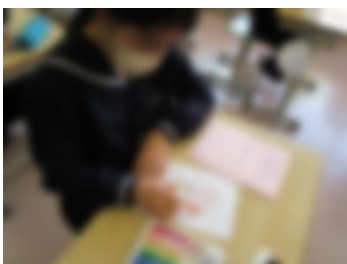
(3年3組 さん)

・いのちが光っているように色を塗りました。周りの黒いもやを振り払うくらいのいのちの輝きを表現できるように黒一色で染めました。

(3年4組 さん)

・全体的にうすい色で塗りました。うすくてやさしい色は、人にやさしくすることなどを表しています。白のところは今からでも新しい色を塗ることができるということを表しています。

(3年4組 さん)



皆さんの感想から、今回の活動を通して「いのち」について深く考えたことが、よく伝わってきました。
次回のいのちの日は、6月2日(木)です。担任の先生からの「読み語り」をおこないます。